

競技上の注意

大学男子

1 競技規則

- (1) 本大会は、2025年度オフィシャルソフトボールルールを適用する。
- (2) 7回終了時同点の場合は、8回からタイブレークにより試合を継続する。
- (3) 捕手は、準備投球のときスロートガード付きマスクを着用すること。捕手以外の選手が捕球するときも同様とする。また、競技場内のブルペンで投球するときも着用すること。投球練習は、危険防止のため一組とする。
- (4) 抗議(プロテスト)は、監督又はそれに代わる者に限る。

2 申し合わせ事項

- (1) 選手の集合時刻は、試合開始予定時刻の30分前又は前の試合の4回終了時まで、当該球場に集合すること。
- (2) 打順表の記入と提出については、試合開始予定時刻の30分前又は前の試合の4回終了時に、予め配付された打順表(5枚一組)にすべて必要事項を記入し、当該球場本部に提出すること。打順表に記載のない選手は、試合に出場することができない。
- (3) 試合当日の早朝から雨天等で開催が難しい場合は、各チームは待機して主催者の判断を待つこと。予備日がなく、改めて集まることが難しいため、極力、試合を行うことを原則とする。
- (4) 組合せ抽選は、春季リーグ戦の結果によるシード制を採用する。
- (5) ベンチに入れる選手数は25名以内とし、組合せ番号の若いチームを一塁側とする。
指導者資格・スコアラー(有資格者)の確認については、競技役員が各試合のベンチに入る時に指導者登録証と身分証明書(顔写真付き)で確認する。
- (6) 大学の引率者1名(部長又は顧問)は、ベンチに入ることができる。
- (7) 前の試合が開始予定時刻よりも早く終了しても、次の試合は原則として開始予定時刻に開始するものとする。
- (8) 連続試合(ダブルヘッダー)となる場合は、次の試合までの準備を考慮し、ベンチ入りを前の試合終了30分後までに完了するものとする。
- (9) 競技用具は危険防止のため、審判員が試合前に規格、損傷の有無を確認する。
- (10) バット及びヘルメットは、規格外や安全性に問題があるものは使用を認めない。
- (11) 試合前の練習は指定された地域で行い、試合に支障がないようにすること。
- (12) 試合開始前(ベンチ入り後)の練習は、ファウル地域において行うことができる。この場合、投球練習及びキャッチボール以外は認めない。
- (13) チーム及び選手の応援は、フェアプレーの精神やマナーを遵守して行うものとし、鳴り物による応援は禁止する。
- (14) 監督が審判員に選手交代や抗議などをするとき、サングラスを着用しないこと。
- (15) ベンチ内に競技用具以外の物(自前の椅子など)は、持ち込まないこと。
- (16) 決められた場所以外での喫煙は、禁止する。**※会場敷地内は全面禁煙。**
- (17) 選手間の打ち合わせは、1イニング1回とするように指導する。(R5年度より)
- (18) その他必要なことは主催者において判断するが、原則として(公財)日本ソフトボール協会の「競技者必携」に従うものとする。

- (19) 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン等にそった大会運営をすることから、応援者を含むチーム関係者の健康管理、消毒・衛生管理には十分配慮し、感染防止に務めること。
- (20) 試合前に、ロジンバッグを各チームに渡すこととする。